

平成19年度の厚生労働省の科学技術研究の推進の基本的考え方

平成19年度当初内示

科学技術関係予算

1315億円(1308億円・+0.5%)

うち厚生労働省研究費補助金

428億円(428億円・同額)

- (1)生活習慣病対策とこころの健康の推進
47億円 (46億円)
- (2)がん予防・診断・治療法の開発
62億円 (55億円)
- (3)生涯を通じた女性の健康の向上・
次世代育成
7億円 (7億円)
- (4)介護予防の推進
14億円 (16億円)
- (5)免疫・アレルギー疾患の克服
13億円 (12億円)
- (6)障害・難病等のQOL向上
33億円 (32億円)
- (7)臨床研究の推進

健康安心の推進

(健康寿命の延伸)

基本計画に基づき施策を推進

先端医療の実現

- (1) 先端医療実現のための基盤技術の開発 89億円 (100億円)
- (2) 臨床研究 (治験) 基盤の整備の推進 41億円 (32億円)

安全・安心で
質の高い健康
生活を実現

第3期科学技術基本計画 分野別推進戦略

■戦略重点科学技術

- 「臨床研究・臨床への橋渡し研究」
- 「標的治療等の革新的がん医療技術」
- 「新興・再興感染症克服科学技術」 など

■研究開発の推進方策

- 「臨床研究推進のための体制整備」
 - 「安全の確保のためのライフサイエンスの推進」 など
- 厚労省が主体的に取り組みむべき分野の研究及び体制整備の一層の充実を図る。

理念の
戦略の
真の
貢献
実現
推進

健康安全の確保

- (1) 新興・再興感染症対策等の充実
59億円 (54億円)
- (2) 食の安全の確保
15億円 (14億円)
- (3) 健康危機管理対策の充実
6億円 (7億円)
- (4) 医療等の安全の確保
33億円 (39億円)